

プール開き

「梅雨の中休み」といふ表現をするには相当異和感があります。梅雨入り宣言後、続いてくる青空の子どもたちは喜々として寺尾中央公園の探険や園遊、屋上での遊びを楽しんでいました。

これから迎える本格的な暑さと、暑い夏だから出来る遊びに期待を込めて、冷気あふれる七月の始まりです。

毎月実施しているお誕生会。ながよしの日・遊難訓練には、ひまわりからこの組まで、静かに集中して参加できるようになり、集中力の育ちを感じていきます。

集中力は学びのこの基本です。毎日の生活の中で人の話を聞く時には、揚げ足を取ったり、途中で早合点や早飲み込みをすることを許し、静かに真剣に聞いている人

たちに迷惑をかけるはいりないことを教えました。

話は最後まで話の人の目を見て静かに聞く。

つまり耳がその目と心でしっかりと「聴く」。理解して考えを行動する。けじめと思ひやりの態度を培うようにして参りました。

四月からの三か月間、子ども同士の遊びもおしとべりもずい分と活発になり、端を見ても聞かざる会話も楽しくて可愛く、ほほがゆるんでくることも多くなりました。

一人ひとりひとりの主張がはっきりして来たことにより、意見の擦れ違いや衝突もありましたが、この経験は、相手の気持ちを聴き取り、考えを行動する学習の場になっていきます。

人の話の揚げ足を取ったり嘲笑ったり、弱い者いじめにならないうちに、話は落着いて真剣に聴く態度を大切に、話の例は、子ども

の集中力が持続する範囲で、聴いてもらえるわかり易い話の方を工夫しなればならぬと思っております。聴く話方は信頼関係の始まりです。

いよいよプールあそびが始まりました。あそびと休息・栄養のバランスが整って、健康だからこそ出来る水あそびです。ポドゴ生存知のアドレナリンと感染症と溶連菌感染症にかかるお子さんがポツポツと続々中々終息をお知らせできないままです。

蔓延を防ぎ、必ず夏を遊ばせ楽しめるように、引き続き早期発見早期治療への協力を、よろしくお願い致します。

園長 福田孝子

4月 7 月 12